

《No.2025-48》2025 年 11 月 30 日(日)待降節(アドヴェント)

主日礼拝

司式・説教小野寺泉牧師
奏楽狭間希望

【招き】

前 奏(讃美歌 245・1 節)
招 詞詩編 121 編 1～8 節
罪の告白と赦し 交読詩編 32 編
讃 美 歌 353 番

起立
起立

【み言葉】

聖 書
出エジプト記 23 章 1～9 節(旧約 p. 131)
マルコによる福音書 15 章 1～5 節(新約 p. 94)

祈 り
讃 美 歌 165 番
説 教「正しい裁きを行う主イエス」
祈 り
讃 美 歌 390 番

起立

起立

【感謝】

信仰告白 ニカイア信条
献 金 田畑有希子委員
主 の 祈
頌 栄 24 番

起立

【派遣】

派 遣
祝 福(讃美歌 40・6)
後 奏(讃美歌 II 259)

着席

◇報告宮川美加委員 ◇受付杉山綾子委員

【次週主日礼拝 2025 年 12 月 7 日待降節(アドヴェント)】

イザヤ書 2 章 1～5 節
ヨハネによる福音書 8 章 12 節
◆説教「主の光の中を歩もう」
◆罪の告白:詩編 38 編
◆讃美 18, 352, 231, 474, 78, 24
◆報告宮川美加委員 奏楽狭間希望 献金宮川美加委員 受付田畑有希子委員

【本日の集会】

◇礼拝前祈祷会 10:00 於一階集会室
◇会堂清掃 礼拝後 於一階集会室

【今週の集会】

◇聖書を学び祈る会 12 月 3 日(水)昼 1:30、夜 7:00
サムエル記下 21 章 1～14 節
◇定期委員会 12 月 6 日(土)

【諸報告】

1. 11 月 30 日(日)からアドヴェント(待降節)が始まります。待降節は、イエス・キリストの降誕を待ち望む祝日という意味。アドヴェントは「アドヴェニオー＝やって来る、到来する」から派生した言葉で、主イエスの到来を待ち望む時という意味です。主イエスの訪れを心から待ち望みましょう。本日、クリスマス礼拝のご案内が配布されます。よろしくお覚えください。
2. 2026 年に「福音時報」「家庭礼拝暦」を購読される方は、会計委員田畑までお申し出ください。
3. 去る 11 月 29 日(土)クリスマスツリー・クランツなどを設置しました。感謝して報告します。

【中会・大会、その他】

1. 去る 11 月 11 日(火)中会教職者会が札幌北一条教会で行われました。聖書協会の飯島克彦氏が「聖書協会共同訳の発行と特徴について」と題して講演されました。レジメを御覧下さい。
2. 去る 11 月 21 日(金)中会教師試補試験委員会が森林公園教会で行われ、牧師が参加しました。

◇美瑛伝道所◇

本日:主日礼拝日 30 日(日)15:00、在室日 4 日(木)
先週:11 月 23 日(日)男 2 女 1 計 3 名
牧師在室日 27 日(木) ツリーの設置、除雪

【先週の集会】

主日礼拝 23 日(日)男 2 女 5 計 7 名
聖書を学び祈る会 26 日(水)昼男 2 女 0 計 2 名夕男 1 女 1 計 2 名

【先週の説教の要約】

「わたしは憐れみ深いからである。」
(旧約聖書出エジプト記 22 章 26 節)

◆旧約聖書はしばしば救いの神について書いてい
るのではなく、怒りの神について書いてあるとい
った先入観や神に背いた旧約の民イスラエルにつ
いて書いているのだから、新約時代に生きるわた
しにはあまり関係がないと思われたりすることが
あります。しかし実際に旧約聖書を読んでもと、
全く違い、旧約も救いの神について語り、また極
めて現代的なメッセージがあることが分かります。
出エジプト記 22 章 20～26 節は「契約の書」の一
部で、十戒でいわれていることを展開した律法が
書いてあります。それが、現代にも通用するメッ
セージを告げているのです。「寄留者を虐待し
たりしてはならない。寡婦や孤児はすべて苦しめ
てはならない。もし、あなたがわたしの民、あな
たと共にいる貧しい者に金を貸す場合は、高利貸
しのようにしてはならない。もし隣人の上着を質に
取る場合、日没までに返さねばならない。」その
ようになります。寄留者、寡婦と孤児、経済的
に困窮している者など社会的弱者を助け、共に生
きる相手として生きることができると命じていま
す。これらは、現代のわたしたちも心に掛けてい
ることです。けれども聖書は、こうした「人道的
律法」を命じるのは、わたしたちの善意に依り頼
んでのことではないのです。寄留者を保護する理
由について、聖書は、明確にあなたたちはかつて
エジプトの国で寄留者たちであったといってい
ます。それはまた寡婦や孤児、経済的に貧しい
状態であったことも含んでいます。そのような
者たちを主なる神は、ただ憐れんで、エジプト
の国から解放したのです。ですから明らかに神
の救いのゆえに、社会的弱者を保護し、共に生
きる仲間としていくことが求められているので
す。特に「上着を質にとる場合、日没までに返
さねばならない」とは、パレスチナ地方の寒暖
の差が激しいためです。金銭の貸し借りは、命
を保護し合うことの上に成り立つものだから
です。

平和を求める祈り

平和の器

主よ、わたしをあなたの平和の器とし、
憎しみしかないところに
愛の種子をまかせてください。

痛みしかないところに 赦しを
疑いしかないところに、信仰を
絶望しかないところに、希望を
暗黒しかないところに、光を
また、悲しみしかないところに、喜びを、
どうか、みなぎらせてください。

慰められることを願うのではなく、
慰める者となりますように。
理解されることなく、
理解することを
愛されるのではなく、愛することを
心から求める者になりますように。

わたしたちは与えることにおいて、
受けるのです。
赦すときに、自らも赦されるのです。
そして死において、
永遠の命に目覚めるのです。

—アッシジのフランチェスコ(1181年～1226年)の祈り

主の祈り

天にましますわれらの父よ
願わくは、み名をあがめさせたまえ。
み国を来たさせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を今日も与えたまえ。
我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、
我らの罪をも赦したまえ。
我らをこころみに遭わせず、
悪より救い出したまえ。
国と力と栄えとは、限りなく汝のものなればなり。
アーメン

期集会のご案内

主 日 礼 拝:毎週日曜日午前10時30分
聖書を学び祈る会

昼の部:毎週水曜日 午後1時30分

夕の部:毎週水曜日 午後7時

読書会:随時(週報に案内を掲載します)

※前列からつめてお座りください。

※起立が困難な方は、体調にふさわしい姿勢で礼拝
に参加してください。

日本キリスト教会富良野伝道所

週 報

年間主題

「主イエスに希望をおいて生きる群れ」

主題聖句

「天地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びない。」

—マルコによる福音書13章31節



伝道教会建設1952年4月17日

伝道所建設2005年3月21日

〒076-0024 北海道富良野市幸町5-6

Tel・Fax 0167-22-4527、090・8215・3971

教会ホームページ, QRコード

<https://io520jcf.wixsite.com/--hp>

Email io520jcf@khaki.plala.or.jp

Email estr0413g76bap@ezweb.ne.jp

教会口座番号(振込用紙の場合)19760 - 108531

店名九七八 店番978 普通預金口座番号0010853

牧師 小野寺泉

